

株式会社フィックスターズ

2020年9月期 第3四半期決算補足説明資料

2020/8/12

本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものであります。

当該仮説や判断に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等の様々な要因により、実際の業績等は本資料記載の業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

1

2020年9月期 第3四半期 決算説明

・ 前年同期比で減収減益も、ほぼ期初計画通り

- ・ 売上高 : 4,253百万円 (前年同期比▲21.7%)
- ・ 営業利益 : 787百万円 (前年同期比▲20.4%)

・ ソフトウェア・サービス事業は堅調

- ・ 3Qの売上高としては過去最高
- ・ 新規事業への投資により利益は低水準

・ ハードウェア基盤事業にはスポット案件の影響

- ・ 画像処理向けストレージ・サーバの大型スポット案件が減収
- ・ 医療機器向け画像処理プロセッサ搭載演算ボードは堅調に推移するも、その他スポット案件の獲得には至らず

連結損益計算書

ハードウェア基盤事業のスポット案件の減少、新規事業向けの経費増により減収減益。
概ね期初計画通りの水準。

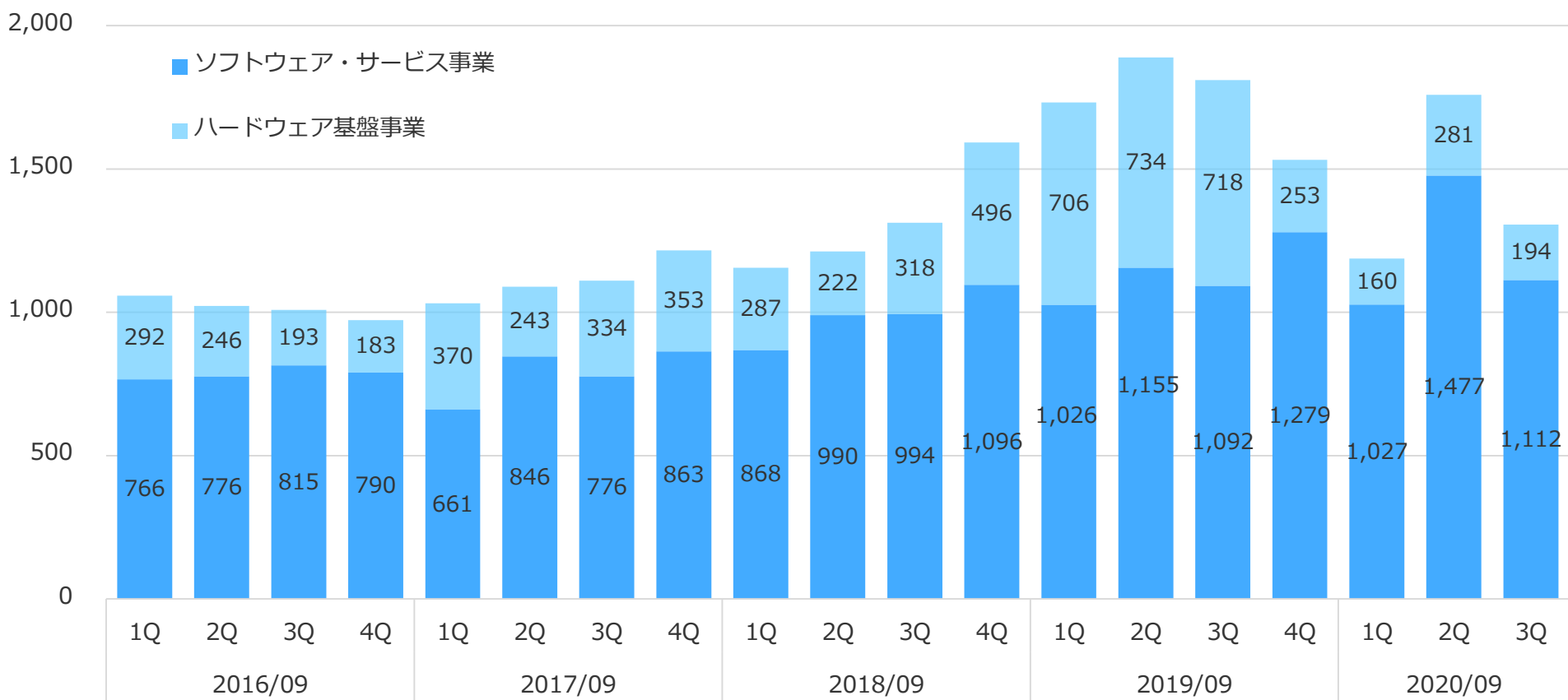
(単位：百万円)	2019年9月期3Q累計		2020年9月期3Q累計	
	実績	実績	前年同期比	
売上高	5,433	4,253	▲21.7%	
営業利益	988	787	▲20.4%	
売上高営業利益率	18.2%	18.5%	+0.3pt	
親会社に帰属する当期純利益	648	503	▲22.4%	
売上高当期純利益率	11.9%	11.8%	▲0.1pt	

売上高

ソフトウェア・サービス事業は人員増を反映し、3Qの売上高としては過去最高。

ハードウェア基盤事業は大型スポット案件の減少により前年同期比で大幅減収。

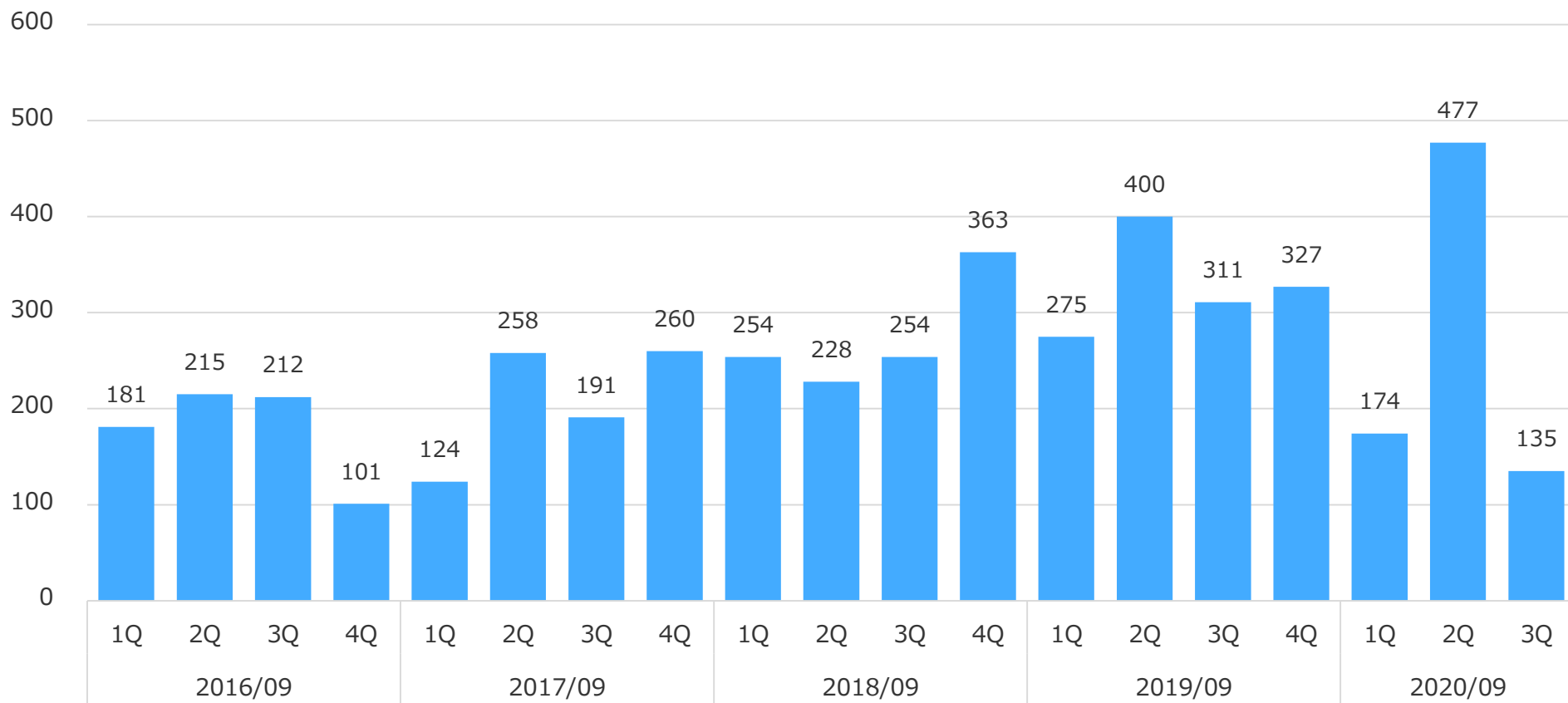
(単位：百万円)



営業利益

新規事業への投資により利益水準は低下も、概ね期初時点での計画通り。

(単位：百万円)

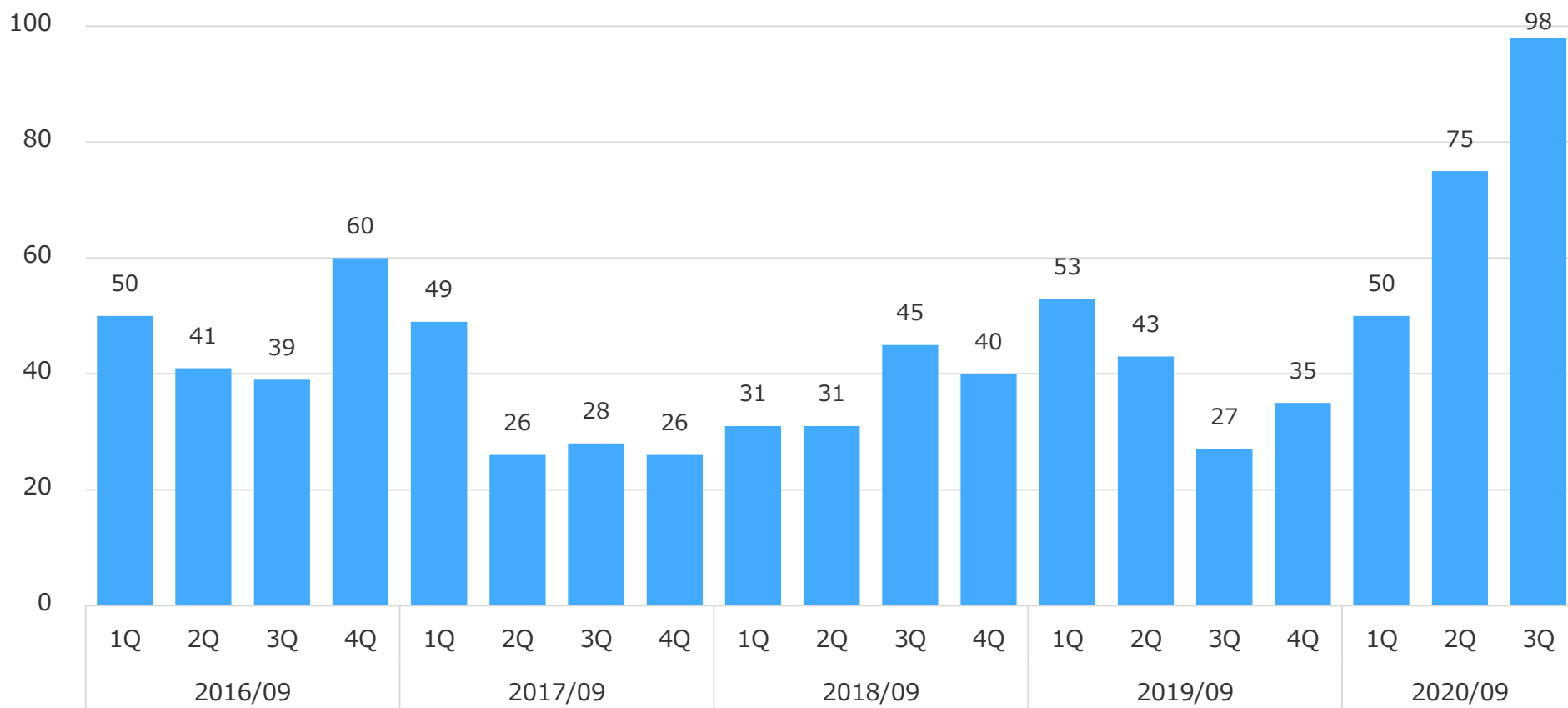


研究開発費

Sleekを中心とした新規SaaS事業向けの研究開発を継続。

中長期の研究開発活動においてはNEDO等からの補助金を活用し、費用負担の軽減を図る。

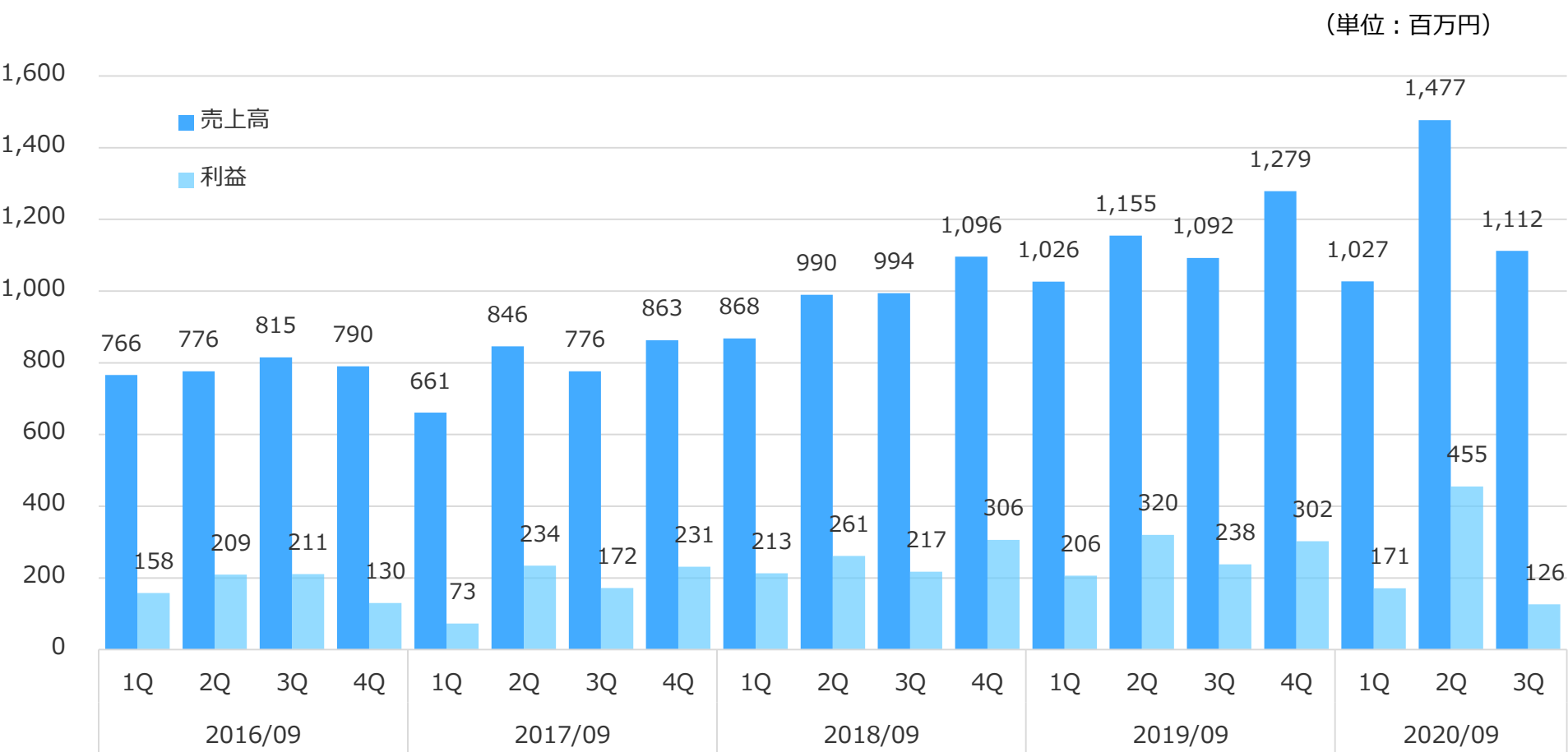
(単位：百万円)



ソフトウェア・サービス事業

3Qの売上高としては過去最高を達成。

新規事業への投資を積極的に行っており、利益は低水準。

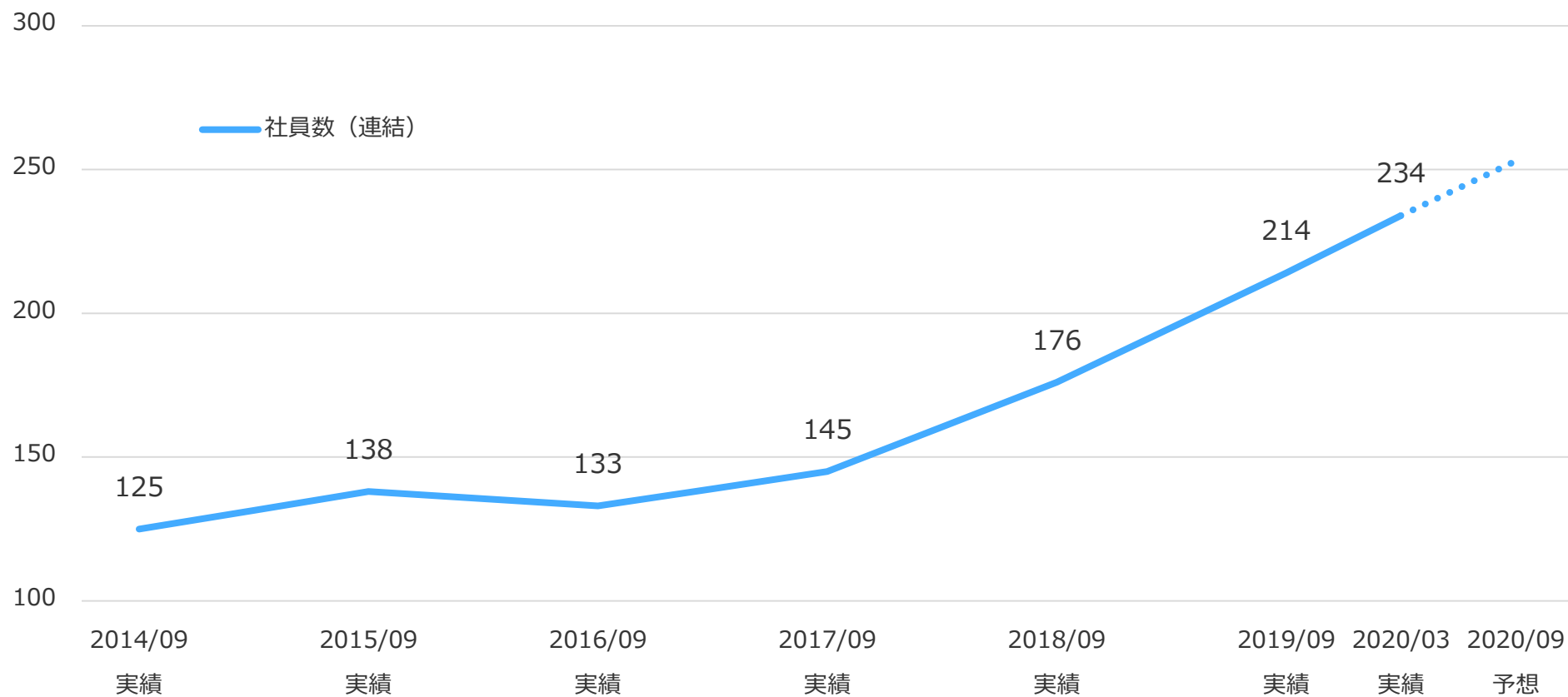


社員数推移

上期は前期末から20名増員。

主に新卒採用により、期末にはさらに増員となる見込み。

(単位：人)

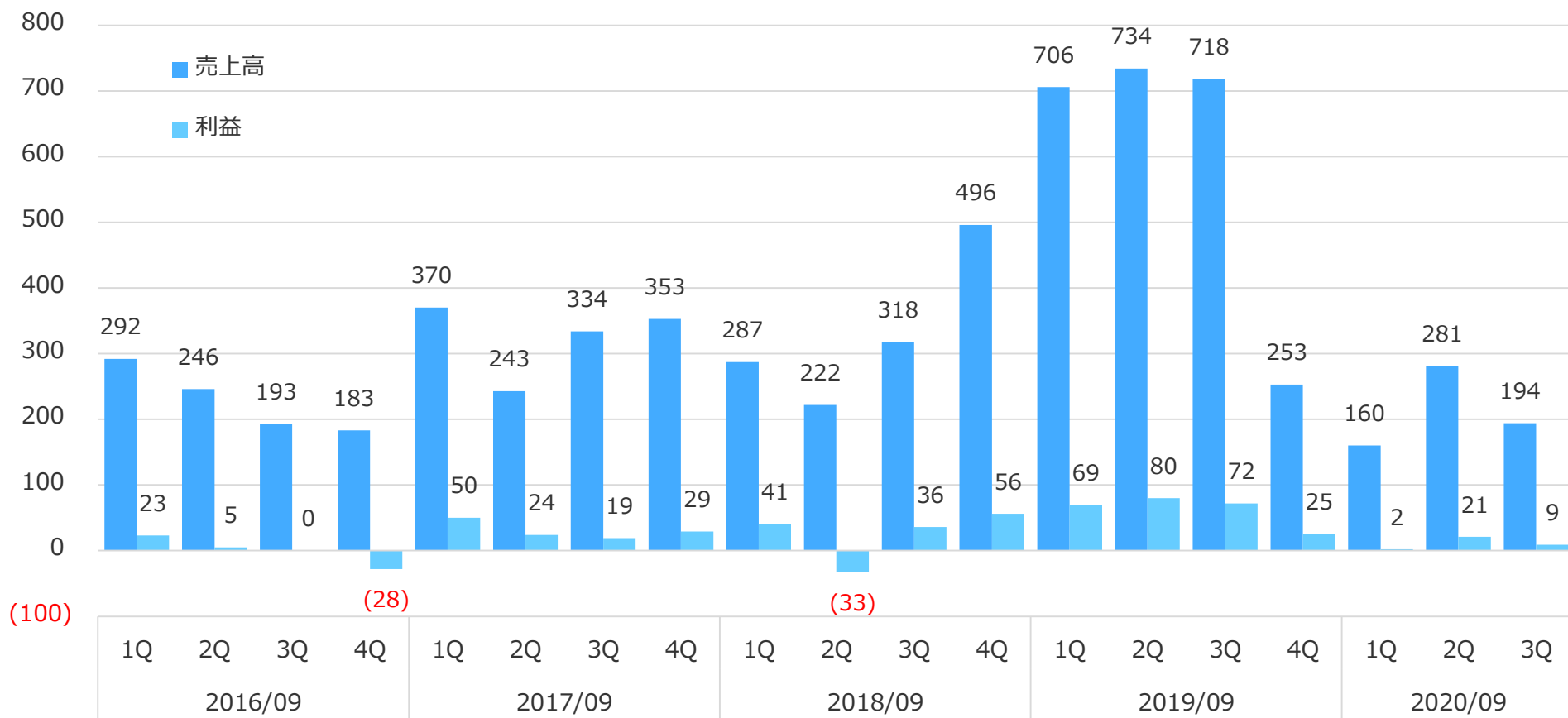


ハードウェア基盤事業

前期画像処理向けストレージ・サーバの大型スポット案件が減収。

医療機器向け画像処理プロセッサ搭載演算ボードは堅調に推移しているが、その他スポット案件の獲得には至らず。

(単位：百万円)



新型コロナウイルス感染症の影響について

今期業績に対する影響は軽微。

顧客の製品開発動向等を踏まえ、来期以降への影響を精査中。

3Q業績への影響

☑ **全体**

3Q業績への影響は軽微

☑ **ソフトウェア・サービス事業**

業績への影響は軽微も、一部で顧客製品
開発動向の影響を受ける

☑ **ハードウェア基盤事業**

量産品については期初予定通りに着地
スポット案件の進捗に遅延

当社の取り組み

☑ **リモートワークの推進**

リモートワークを原則とし、感染リスク
を低減
環境整備用の手当を社員に支給

☑ **財務基盤の強化**

総額40億円の借入を実施し、コロナ禍の
長期化に備え財務基盤を一層強化

☑ **新規事業の加速**

withコロナの開発体制向けにAIプロジェ
クトマネージャ“Sleeek”等を積極提案

今後の見通しへの影響

☑ **全体**

今期業績への影響は軽微
来期以降への影響を精査中

☑ **ソフトウェア・サービス事業**

顧客の製品開発動向をフォローし、ソフ
トウェア開発・高速化サービスへのイン
パクトを精査

☑ **ハードウェア基盤事業**

顧客最終製品の上市タイミングと量産ス
ケジュールを精査

2

2020年9月期 通期業績予想

新型コロナウイルス感染症拡大の今期への影響は軽微、期初予想据え置き

- ・売上高 : 6,384百万円 (前期比 ▲8.4%)
- ・営業利益 : 1,059百万円 (前期比 ▲19.5%)
- ・新規SaaS事業向け研究開発費等の先行投資約4.5億円 (前期実績 : 約2.5億円) を確保

ソフトウェア・サービス事業は一部に新型コロナの影響

- ・一部顧客で製品開発への投資削減、スケジュール見直しの動き
- ・今期業績への影響は軽微

ハードウェア基盤事業はスポット案件減により大幅減収見込み

- ・大型スポット案件関連 (前期売上実績 : 約10億円) が減収見込み
- ・医療機器向け画像処理プロセッサ搭載演算ボードのEOLが2021年3月に確定。リカーリング収益が期待できる新たな案件獲得を目指す

連結損益計算書

ソフトウェア開発・高速化サービスの拡大が見込まれるも、ハードウェアの大型スポット案件減により減収予想。

新規SaaS事業向け約4.5億円（前期実績：約2.5億円）を中心に販管費増が見込まれ減益予想。

費用が先行する新規事業を新会社に分離したことで、連結決算上は税負担率が増加し当期純利益率が低下。

(単位：百万円)	2019年9月期	2020年9月期	
	実績	予想	前期比
売上高	6,966	6,384	▲8.4%
営業利益	1,316	1,059	▲19.5%
売上高営業利益率	18.9%	16.6%	▲2.3pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	870	579	▲33.5%
売上高当期純利益率	12.5%	9.1%	▲3.4pt



補足資料

高速化のエキスパート集団

フィックスターズは、コンピュータの性能を最大限に引き出し大量データの高速処理を実現する、高速化のエキスパート集団です。

概要

会社名	株式会社フィックスターズ
本社所在地	東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー18階
設立	2002年8月
上場区分	東証一部（証券コード：3687）
代表取締役社長	三木 聡
資本金	5億5,296万円（2020年6月現在）
社員数（連結）	234名（2020年3月現在）
主なお客様	キオクシア株式会社 株式会社ネクスティ エレクトロニクス 株式会社日立製作所 キヤノン株式会社

グループ体制

株式会社フィックスターズ

株式会社Fixstars Autonomous Technologies

株式会社ネクスティ エレクトロニクスとのJV（当社持分：66.6%）
自動運転向けソフトウェア開発に特化

Fixstars Solutions, Inc.

当社完全子会社
米国での営業及び開発を担当

株式会社スリーク

当社完全子会社
新規SaaS事業“Sleek”等を担当

株式会社Smart Opinion

プロディジメディカル株式会社とのJV（当社持分：62.5%）
乳がんAI画像診断支援事業を担当

オスカーテクノロジー株式会社

連結子会社（当社持分：74.5%）
ソフトウェア自動並列化サービスを提供

コンピュータの進歩とともに

ハードウェア技術の進化にいち早く対応し、
その性能を最大限に引き出すソフトウェア開発・高速化サービスとともに成長してきました。

年月	出来事
2002年 8月	神奈川県横浜市に有限会社フィックスターズ設立、その後株式会社に組織変更
2004年 7月	マルチコア技術開発部設立、Cell/B.E.ソフトウェア開発サービス開始
2006年 12月	PlayStation®3の発売を受け、「PS3® Information Site」を立ち上げ
2009年 12月	「OpenCL入門ーマルチコアCPU/GPUのための並列プログラミング」を出版
2010年 11月	米国空軍研究所に、PlayStation®3を用いた高速クラスタシステムを導入
2012年 1月	NANDフラッシュメモリ関連ソフトウェア開発サービス開始
2014年 4月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
2016年 11月	東京証券取引所市場第一部に市場変更
2017年 6月	量子コンピュータを手掛けるD-Wave社との協業を開始
2018年 2月	自動運転分野のさらなる拡大を目指し、ネクスティ エレクトロニクス社と合併会社Fixstars Autonomous Technologiesを設立
2020年 3月	自動並列化技術に強みを持つオスカーテクノロジー株式会社の株式を取得、連結子会社化

コンピュータの恩恵を人々に

コンピュータの性能を最大限に引き出す高速化技術を軸に、ESGをはじめとする人類社会の課題解決に貢献しています。

当社事業領域



組込みシステム等の高速化
フラッシュストレージの高性能化、応用分野の拡大



自動運転の高性能化、実用化
次世代パーソナルモビリティの研究開発支援



医用画像処理、ゲノム解析の高速化
AIによる画像診断支援



AIを用いたソフトウェア開発マネジメントサービス
AIチップ、量子コンピュータ向け開発基盤の提供

社会的価値

コスト・消費電力削減による
環境負荷低減

交通事故の根絶
交通弱者の救済

より気軽でより質の高い
診断・治療へのアクセス

更なる技術革新への
土台作り

ソフトウェア開発・高速化サービス

お客様のソースコードをご提供いただき、
ソフトウェアの最適化やアルゴリズムの改良を行い高速化したコードをお返しします。



当社

オリジナルソースコードのご提供

高速化したソースコード

お客様



コンサルティング



高速化



サポート

- 性能評価
- ボトルネックの特定
- アルゴリズムの改良・開発
- ハードウェアへの最適化
- レポート作成
- レポートやコードへのQ&A
- 実製品への組込み支援

大量データの高速処理が求められる分野

大量データの高速処理が顧客製品の競争力の源泉となる、
様々な領域でソフトウェア開発・高速化サービスを提供しています。

**Semiconductor**

- ・ NAND型フラッシュメモリ向けファームウェア開発
- ・ 次世代AIチップ向け開発環境基盤開発

**Industrial**

- ・ Smart Factory化支援
- ・ マシンビジョンシステムの高速化

**Mobility**

- ・ 自動運転の高性能化、実用化
- ・ 次世代パーソナルモビリティの研究開発

**Life Science**

- ・ ゲノム解析の高速化
- ・ 医用画像処理の高速化
- ・ AI画像診断システムの研究開発

**Finance**

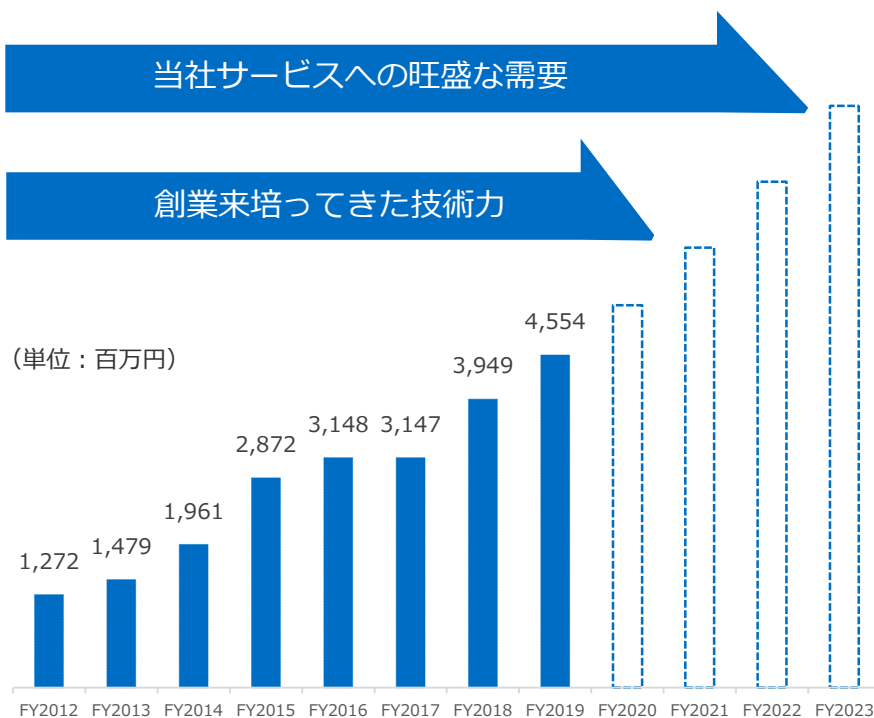
- ・ デリバティブシステムの高速化
- ・ HFT(アルゴリズムトレード)の高速化

既存事業の安定成長と新規SaaS事業の育成

当社サービスへの旺盛な需要を背景に、ソフトウェア開発・高速化サービスの安定成長が見込まれます。

当社事業の根幹をなすソフトウェア開発・高速化サービスに引き続き注力する一方で、更なる成長のため新規SaaS事業の育成に取り組みます。

ソフトウェア・サービス事業の売上高推移



現状と今後の課題

年率10%~15%の安定成長

旺盛な需要を背景にソフトウェア・サービス事業の年率10%~15%の安定成長が見込まれる一方、それ以上のペースでの拡大成長は見込み難い

更なる成長の実現

創業来培ってきた技術力と外部環境を活かして、世界シェア1位の“勝者”となりうる新規事業開発にチャレンジ

Sleek社の事業展開

「ソフトウェアの力でソフトウェア開発チームの生産性を向上させ、世界の生産性を上げる」

このミッションのもとに、SaaS製品を開発・提供しています。

Refactoring Advisor

(8月公開予定)
ソフトウェアエンジニアのための
メディア事業

- ソフトウェア品質の分析ツールを提供
 - 登録不要・インストール不要・完全フリーで利用可能
 - バグの一因となるプロジェクト内の類似コードを自動検出し、重要度順に提示
- 開発者にとって有益な解説記事を定期的に公開
 - 最新の開発手法
 - ソフトウェアメトリクス
- 広告+サブスクリプションでの収益化
 - プレミアム機能の提供

両製品へのアップセル

sleek

開発に使用される様々なツールから
データを収集・解析

- プロジェクトやチームの現状を分かりやすく可視化
- リスクや課題を検知し、解決策を提示

sider

コード品質を高める
「ソースコードレビュー」を自動化

- 人に代わってコードを静的解析し、問題点を指摘
- 人だけではどうしても発生する抜け漏れを防止

各製品の
ターゲット層

エンジニアリング
マネージャー

プロジェクト
マネージャー

ソフトウェア
エンジニア

エッジビジョンAI開発プラットフォーム“GENESIS”

自動運転やFA等、様々な分野で利用拡大が見込まれるエッジビジョンAI向けの開発プラットフォームです。
アルゴリズムの構築から各種ハードウェア向け最適化、半導体回路生成まで数クリックでシームレスに行えます。

事業背景と顧客の課題

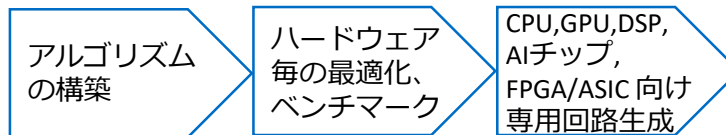
手戻りによる開発工数の増大と、ソフトウェア開発の高難度化

製品の競争力を高めるため、最新アルゴリズムとハードウェアを活用して高度なエッジビジョンAIを実現したいが・・・

- 新たなアルゴリズムやハードウェアを試す度にソフトウェアを実装しなければならない
- 量産用の安価なハードウェアに乗り換えるために再度ソフトウェアを実装し直さなければならない
- システム全体を最適化するためには多くの時間と高度なノウハウが必要

提供機能

アルゴリズムの構築から最適化、半導体回路生成まで数クリックで完成



製品開発にイノベーションを起こす エッジビジョンAI開発プラットフォーム “GENESIS”



2020年10月 サービス公開予定
同月「CEATEC 2020 ONLINE」出展予定

フィックスターズ

東大

東工大

東大、東工大と共同で、NEDOの支援を受けながら中長期の開発に取り組む

適用分野

エッジビジョンAI



ADAS・自動運転



ドローン



FA

⋮

乳がんAI画像診断支援事業

乳がんを対象としたAIによる自動診断支援技術の事業化に向けた計画を推進中です。

本技術は、2020年8月13日からオンライン開催される日本外科学会定期学術集会の特別展示「AIパーク」に出展します。

また、コロナ禍における対応として、子会社のSmart Opinion社では本事業の開始に先駆けてオンライン診療サービスの提供を開始しています。

フィックスターズ
ディープラーニング
技術

慶應大学医学部等
大量の診断データ

- ☑ 日本初となる、超音波画像を学習データとする乳がんのAI診断支援システムを慶應大学医学部と共同研究
- ☑ 慶應大学医学部等の協力を得て、大量の診断データを元に学習し、高いレベルの診断精度を実現



Smart Opinion

事業推進

医療機器
製造販売業
認可
取得済

医療機器
認可
申請対応中

2021年内の
サービス開始を
目指す

日本の法令上、本サービスは「医療機器」

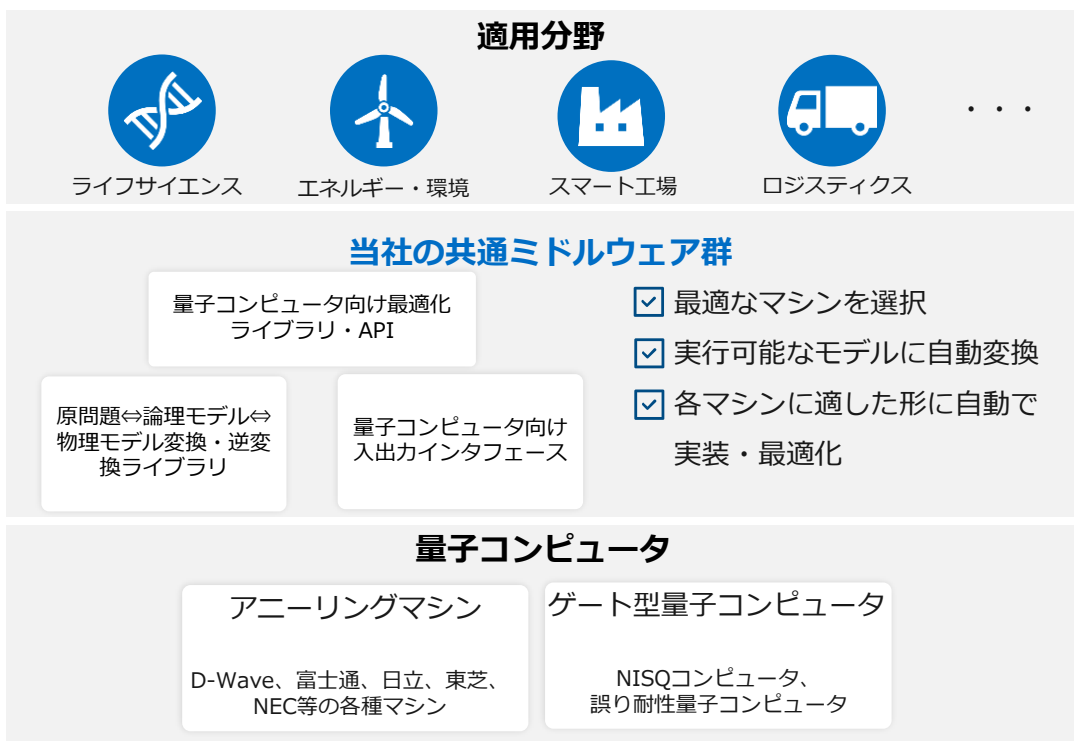
乳がんをより簡易に、確実に早期発見できる社会へ

- ☑ 患者の負担軽減
現在の検査において主に用いられるマンモグラフィーより痛みが少ない
- ☑ 検査精度の向上
大量の診断データを元に学習したAIによる、検査技師や医師の技量に依存しない高精度の診断
- ☑ 検査技師の不足解消
経験の少ない検査技師でも、AIのサポートにより画像の読影を短時間で高精度に
- ☑ 医師の負担軽減
検査でのスクリーニング精度向上により、偽陽性・偽陰性が減少

量子コンピュータ事業

各種量子コンピュータを容易に、効果的に活用できるような共通ミドルウェア群と、関連コンサルティングサービスを提供します。NEDO及びSIPに参画し、中長期の研究開発に取り組みます。

共通ミドルウェア群のイメージ



当社の差別化要因

- ☑ アクセラレータ活用技術
創業来ソフトウェア開発・高速化サービスで培ってきたGPUやFPGAといったアクセラレータの活用技術
- ☑ 量子力学をはじめとする各研究分野の知見
次世代アクセラレータ活用に不可欠な学術的バックグラウンドに加え、活用先の候補となる各研究分野における知見
- ☑ 産官学キープレイヤーとの強い関係性
国内外のデバイスメーカーから著名大学や行政機関まで、量子コンピュータにおけるキープレイヤーとの強い関係を構築

NEDO:産業技術力の強化等を目的とした経産省所管の国立研究開発法人
SIP: 戦略的イノベーション創造プログラム。内閣府主導の府省・分野を超えた横断型プログラム

